

Sophia Weidemann

ソフィア・ヴァイデマン

1994年ドイツ、フィルダーシュタットで生まれ、10歳よりピアノを始める。

15歳よりJungstudiumとしてシュトゥットガルト音楽演劇大学でFlorian Wiek氏に師事。

その後同大学、ウィーン国立音楽芸術大学とリガのヤーゼプス・ヴィートルス音楽アカデミーで学び、学部と大学院を共に最優秀の成績で卒業。2020年、Péter Nagy、Florian Wiekの各氏の指導のもと、Konzertexamen（国家演奏家資格）課程に合格。2023年に卒業試験でゴルトベルク変奏曲を演奏し、その解釈に対して審査委員会から「優秀」の評価を受ける。

マスタークラスを通じて、Alfred Brendel、Till Fellner、Mikhail Voskresensky、Ian Fountainの各氏からの影響を受ける。

国内外のコンクールで様々な賞を受賞。室内楽アンサンブル「Kyklos

Chambers」として、2022年夏にイタリアのVirtuoso e Belcanto Festivalで第1位を獲得。

ソリストとしては、パリのアレクサンドル・スクリャービン国際コンクール（2019年）、

ウィーンのベラ・バルトーク・ピアノコンクール（2015年）で優勝。Live Music

Now、Lyceum Club、Helga Drews Foundation、Jeunesses Musicales Germanyの奨学生。

2024年4月にはGENUIN社からファニー・ヘンゼル・メンデルスゾーンの作品を収録した自身初のCDをリリース。

それに加えARTE 独仏共同テレビ局

のファニー・ヘンゼルに関するドキュメンタリーにも出演している。

<https://www.sophia-weidemann.com/>